

第108回企画展

文学と草木染と

—山崎斌のこころざし—

あきり

2020年

4/11(土) - 6/7(日)

開館時間 9:30~17:00 (観覧受付は16:30まで)

休館日 火曜日 5/5(火・祝)は開館、5/7(木)は休館

観覧料 一般410(320)円、大高生200(160)円

()内は20名以上の団体割引料金

*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料



第三の国木田独歩が生れた —島崎藤村

私と知合になったのはまだ彼が十七八歳の頃であつた—若山牧水

□ 記念講演会 (無料・要事前申込)

5/17(日) 14:00~15:30 定員150名

「島崎藤村と山崎斌」

下山嬢子氏 (大東文化大学名誉教授、島崎藤村学会副会長・理事)

5/24(日) 14:00~15:30 定員150名

「草木染の命名者 山崎斌の生活文化運動」

山崎和樹氏 (草木染研究者、染色工芸家、草木染研究所併生工房(草木工房)主宰)

□ 卓上織機デモンストレーション・織り体験 (無料・申込不要)

4/19(日) 13:00~15:00

県立桐生工業高等学校染色デザイン科生徒

※会期中、桐生工業高校染色デザイン科の生徒作品を館内各所に展示します

□ 草木染和紙でグリーティングカードをつくろう (無料・要事前申込)

5/3(日)、5/4(月・祝) 13:00~14:00、15:00~16:00 定員各回15名

山崎梢氏 (草木屋 草木染伝習所)

草木染の和紙に、型紙を組み合わせて墨と胡粉(白色)で刷り込みをして、自分だけのグリーティングカードを作ろう!

※対象:小学生以上

※申込時に、和紙の色を【赤・青・黄・黒】から1色お選びください



□ クイズイベント (申込不要・要企画展観覧券)

展示を見てクイズを解こう! 全問正解者には景品プレゼント ※会期中は毎日開催

□ 展示解説 (申込不要・要企画展観覧券)

4/11(土)、4/26(日)、5/6(水・休)、5/10(日)、6/6(土)

関連行事の申込・お問合せ先

027-373-7721



群馬県立土屋文明記念文学館

Gunma Prefectural Museum of Literature
in Commemoration of Bunmei Tsuchiya



ぐんま県民
カレッジ
連携講座



公式 Twitter、Instagram 開設!

土屋文明記念文学館



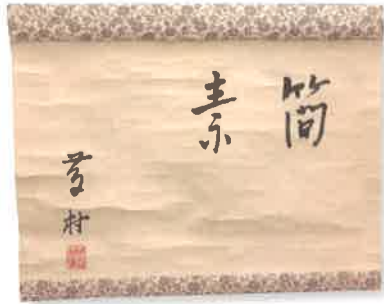
後援 ● 高崎市 朝日新聞社前橋総局 毎日新聞前橋支局 読売新聞前橋支局 東京新聞前橋支局
産経新聞前橋支局 上毛新聞社 桐生タイムス社 朝日ぐんま NHK前橋放送局 群馬テレビ
FM GUNMA ラジオ高崎 まえばし CITY エフエム いせさき FM FM OZE

〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町 2000 上毛野はにわの里公園内 TEL.027-373-7721 FAX.027-373-7725

山崎斌(やまざき あきら 1892-1972)は長野県に生まれ、十代の頃若山牧水に出会い交流を重ねました。大正10(1921)年に小説『二年間』を刊行、島崎藤村の称賛を受け、以後小説家として活躍しました。その一方で、山崎は郷里を襲った養蚕不況対策にも立ち上がります。草木木皮による染を「草木染」と命名、手織物や手漉和紙とともに、その復興や普及事業に尽力しました。

他にも、生活文化雑誌『月明』を主宰、衣食住の記事に加え、学者の随筆や詩歌も掲載するなど、そのころざしに貫かれた活動は多岐にわたりました。

本展では、山崎斌の文学者としての活躍および牧水・藤村らとの交流を辿るとともに、生涯をかけて取り組んだ生活文化に関わる活動を紹介し、斌の息子で群馬県指定重要無形文化財保持者の認定を受けた山崎青樹、そして青樹の息子の和樹、樹彦の作品も展示します。



島崎藤村書翰「簡素」(藤村記念館蔵)



山崎斌「日本固有草木染色譜」(当館蔵)



山崎青樹着物「燕子花」(高崎市染料植物園蔵)

● 記念講演会講師 ●

● 下山 嬢子 (しもやま じょうこ)



昭和23(1948)年秋田県生まれ。大東文化大学名誉教授。島崎藤村学会副会長・理事。学術博士。おもな著書に、『島崎藤村』(1997年 宝文館出版)、『島崎藤村 人と文学』(日本の作家100人 2004年 勉誠出版)、『近代の作家 島崎藤村』(2008年 明治書院)。編著に『島崎藤村』(日本文学研究論文集30 1999年 若草書房)など。

● 山崎 和樹 (やまざき かずき)



昭和32(1957)年高崎市生まれ。草木染研究家。染色工芸家。学術博士。山崎斌の孫。父・青樹のもとで草木染研究を始め、川崎市に草木染研究所柿生工房(草木工房)を開設。東北芸術工科大学・京都造形芸術大学非常勤講師などのほか、天然染色に関わる国際会議でも研究発表を行う。著書に『草木染の絵本』(2006年 農山漁村文化協会)など。

表面草木染生地
(上)山崎斌着物/個人蔵
(中)若山牧水『富士百首』表紙/当館蔵
(下)志賀直哉『映山紅』表紙/当館蔵



雑誌『月明』(当館蔵)



若山牧水書翰山崎斌宛 (個人蔵)



【同時開催】2020年4月24日(金)～6月7日(日)

高崎市染料植物園企画展

「草木染の道 ― 昭和・平成・令和・その先へ―」

「草木染」の命名者山崎斌から現在の後継者たちまでの仕事を通して草木染の魅力を紹介し、

● 群馬県高崎市寺尾町2302-11 TEL. 027-328-6808

2館まわって おトクに草木染ざんまい!
土屋文明記念文学館×高崎市染料植物園

会期中、どちらかの企画展観覧券半券をお持ちの方は、もう一方の企画展が2割引でご覧いただけます。
(半券1枚につき1名様1回まで)



公式Twitter開設記念!
リツイートありがとうキャンペーン♪

会期中、「文学と、草木染と—山崎斌のころざし」展に関する当館公式Twitterのツイートをリツイートしてくれた方に特典を呈呈します。
(リツイートした画面を受付で提示してください)

茶席体験のご案内

ボランティアによる抹茶(煎茶)の提供を行っています。気軽にお茶席体験してみませんか?

- 企画展開催中の日曜・祝日(原則) 10:00～15:00 (12:00～13:00を除く)
- 当館2F 和室 ● 無料
- ※都合により中止や時間変更になる場合があります

次回企画展 ▶ 「宮沢賢治展」(仮称) 2020年7月11日(土)～9月22日(火・祝)

交通のご案内



■ 自動車
・ 関越自動車道前橋ICから15分。
前橋ICから北(前橋方面)へ進み、「元総社町東」信号を左折、県道10号前橋安中富岡線を西(安中方面)へ進み、「井出」信号を右折、直進1.2km(県立文学館)信号左折。
・ 伊香保温泉から30分。

■ 公共交通機関 JR高崎駅、または、JR前橋駅が下車駅となります。

○ 高崎駅から
・ バス: 西口バス2番乗り場から群馬バス「しんとう温泉・榛東村役場」行→「保渡田」下車(約20分)、徒歩3分。
(開館時間帯 平日2本、土日祝日なし)
・ タクシー: 西口から約20分。

○ 前橋駅から
・ バス: 北口バス5番乗り場から関越交通バス「土屋文明文学館」行→終点「土屋文明文学館」下車(約30分)、徒歩1分。
(平日、土日祝日とも2時間に1本程度)
・ タクシー: 北口から約25分。

※ バスの時刻については、バス会社または当館までお問い合わせください。
● 群馬バス高崎駅前案内所 TEL.027-323-1533 ● 関越交通バス前橋営業所 TEL.027-210-5566

2階 カフェ・レストラン 自家焙煎珈琲店 達乃珈琲堂 営業時間 8:30～18:00 定休日 原則火曜日
TEL. 027-335-6530